

一九一八年、第一次世界大戦が終結した同じ年に「スペイン風邪」が発生しました。世界人口の1/3である6億人が感染し、死者は五千万人とも言われています。世界大戦の死者は一千万と言われているのでその被害の大きさには驚くばかりです。スペイン風邪と言われているのですが、中立国であったスペインが情報を発信したため不名誉な名称が付け

Vol.142

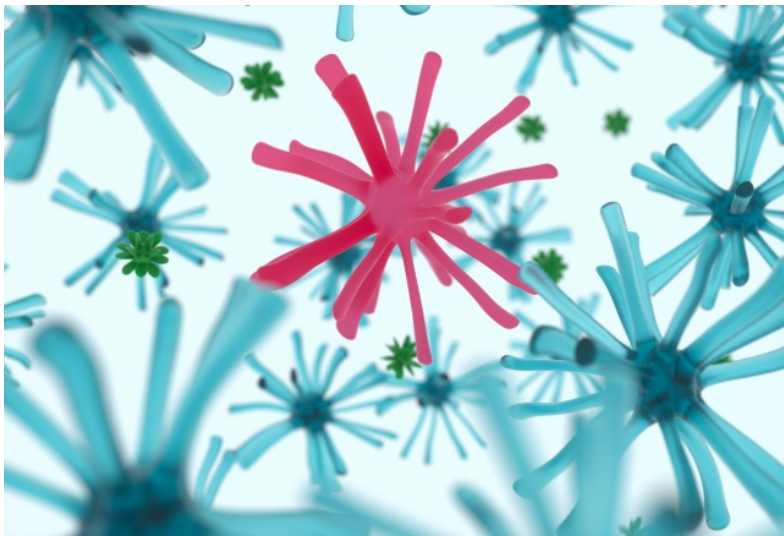
院長 関の

Face to Face

2020年4月1日発行

新型コロナウイルスから身を守る

最後は自分の免疫力(3)



られたようです。日本へは同じ年の春から夏にかけての第一波、秋からの第二波、翌年明けからの第三波と3度の流行の波があったそうです。日本の人口五千六百万人中約半数が罹患し、そのうち四十五万人が死亡、つまり2%の致死率ということになります。今回のコロナウイルス感染症が同じような道を辿る可能性があります。つまり、総人口の約

半数が罹患し、集団免疫を獲得するまで続くのではないかと、ということですが。私達の体内にウイルスが入って感染した時、自分の免疫細胞がウイルスを破壊し、ウイルスを記憶し、攻撃の手段を得る：これが免疫を獲得するということですが。このための準備が必要であるということですが。うつらない、うつさないももちろん大事です。しかし罹患する半数に入らないとは限りません。だからこそ罹患した場合に自分の免疫細胞がしっかりと戦える準備をしておくことが最も大切です。



関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルのFace

to Faceは「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた

※毎月一日の発行です